

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいあい静岡駅南校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が通いたいと思える事業所です。	支援プログラムは季節に合わせたもの、着席して取り組めるもの、身体を大きく動かして活動できるものなど、同じ目的であっても、さまざまなアプローチに仕方です。提供しております。	引き続き他校舎間での研修、発達支援研究所や外部の研修などに参加し、支援を質を高めていきたいです。
2	毎回の支援後に保護者様とお話をする時間を設け、お子様の困りごとや伸ばしたいことを相談していただけます。	支援後には保護者様と座ってお話をする時間を確保し、日常での悩みや伸ばしたいことを共有できます。オーダーメイド療育のため、次回の支援ですぐに取り入れることが可能です。	支援後以外でも、予約をしていただくと保護者さまと指導員で別途相談の時間を取る事が可能です。
3	個別の療育ですが、指導員全員がお子様の様子を把握できるようにしています。	個別の療育ですが、管理者・指導員全員でお子様情報を共有し、どの指導員が支援をしても変わらない支援の質を提供できるよう、また支援の内容が固定化しないように努めております。	引き続きお子様の様子を共有し、体制が変化しても安定した療育を提供できるように努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小集団支援やイベントなどの開催が少ないです。	お子さん2~3名、指導員1名などの小集団は開催していますが、5名以上を集めたイベントの募集をかけたことがほぼありません。	イベントを開催している校舎へ出向き、参加をさせていただきます。募集のかけ方、安全面の配慮、イベントの題材など知ってまいります。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あいあい静岡駅南校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 14名

回収数 14

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	14	0	0	0		身体を大きく動かす際は、開放的な待合スペースや、広い療育室で行っております。
	2	12	2	0	0		基礎人員2名を満たしております。保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、教員免許などそれぞれの専門性を生かした療育を提供させていただいております。
	3	11	3	0	0	お部屋がとてもシンプルで子どもにとって過ごしやすいと思います。	玄関やトイレなどに手すりを設置しております。室内は段差がなく、歩行が安定しないお子様も安全に過ごせるようになっております。
	4	12	2	0	0		・空気清浄機の設置しております。エアコンは定期的にフィルター掃除をさせていただいております。 ・校舎内の掃除は毎朝行っております。
適切な 支援の 提供	5	13	1	0	0		外部研修や発達支援研究所の研修に参加し、どの職員も支援の質が変わらない療育を提供できるよう努めてまいります。
	6	12	2	0	0		アンケートとともに公開しております。
	7	14	0	0	0		保護者様のご要望を取り入れつつ、お子様の発達段階に合った計画を作成しております。
	8	13	1	0	0		個別支援計画に記載し、説明の上同意をいただいております。
	9	12	2	0	0		定期的に支援計画の内容を見直し計画の内容にそった支援をおこなっております。
	10	11	1	0	2		目的が同じであっても、提供の仕方や教材を変えてお子さんの興味を引き付けられるような支援を心がけております。
	11	8	3	1	2		園への見学は保護者さまからご希望があったときには、園へ出向かせていただき、お子様の集団での様子を拝見させていただいたり、担任の先生とお話をするなどは行っております。担当指導員や管理者にお申し付けください。いずれも園や学校への許可が降りたらうかがうことが可能です。
保護者 への 説明 等	12	12	1	0	1		契約時に行っております。
	13	12	1	0	1		契約時やモニタリング時に行っております。
	14	9	2	1	2		他校舎にてペアレントトレーニングを行っております。開催時にはお知らせしてまいります。
	15	13	1	0	0		支援後に保護者様と指導員が情報共有する時間を設けております。
	16	13	1	0	0		支援後のフィードバック時にご相談いただけます。
	17	13	1	0	0		お子様や保護者様の気持ちを受け止めながら支援内容を考えていきたいと思っております。
18	4	4	3	3		検討中です。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2	0	1	ご最近で特に、就学に向けての相談を迅速に対応して頂きとても助かりました。	ありがとうございます。保護者様と園やご家庭の様子や困り感を共有し、少しでもお力添えできるように努めております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2	0	0		ひきつづき、毎回支援後のフィードバックを充実させていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	2	2		ブログやインスタグラムにてお子さんの支援や遊びの様子を写真付きで掲載しております。ぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	0	0		職員室がオープンスペースの為、個人情報の取り扱いには、職員同士で声を掛け合い十分気を付けています。ファイルやPCはカギのかかるロッカーに保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2	0	1		玄関に各マニュアルがございます。いつでもご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	0	3		毎月テーマを決めて行っております。訓練の実施は掲示にてお知らせしております
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	1		教室内や駐車場で安全確保ができるように、ミーティング内で話し合っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	2		ケガや転倒などあった場合は速やかに保護者様へ報告、お子様の様子を確認していただいていた折りです。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1	0	0	先生方が優しく楽しく子供と関わって下さっているので、子供にとってとても安心出来る場所になっています。	ありがとうございます。お子様と信頼関係を築きながら関わらせていただく事を大切にしております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2	0	1	子供が毎週あいあいさんに来れることを楽しみにしています。	ありがとうございます。お子様も保護者様も通いたいと思っただけの事業所にまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1	0	0	子どもが楽しく通所出来ているのが何より1番ですが、先生方がとても優しく暖かく、保護者の悩みにも親身になって話を聞いてくださりこちらに通えてて本当に良かったと思っています。	ありがとうございます。お子様の支援とともに、保護者様の悩みにも一緒に考えていけるようにまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	あいあい静岡駅南校					
				公表日	2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	お子様の支援内容や特性に合わせ環境設定（椅子、机の高さ、声かけ）を行っております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	2024年12月現在は児童指導員4名、(保育士3、心理担当、社会福祉士、精神保健福祉士、教育)が在籍している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	個別療育のため、個室での支援を行っている。	掲示物を設置する際は、お子さんの刺激になりすぎない程度のものを設置するよう心掛けている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日清掃を行っているため清潔である。お子さんの活動や特性に合わせた広さの療育室で支援を行っている。	加えて施設の安全面強化も指導員に周知していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別療育を行っているため、支援中は個室で過ごしている。療育の内容によっては、広いスペースに移動し活動を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	本事業所評価を公開している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	本事業所評価を公開している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	ミーティングや1on1面談などで全体でも個別でも意見を言える環境を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		第3者評価については検討中である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	教室内外の研修や発達支援研究所の事例検討会に参加している。	教室内研修の回数を増やしたり、職員同士の支援見学し合って支援の質を維持していきたい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	5領域に沿った支援プログラムを作成し、支援終了時のフィードバック時に保護者へ提示している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	年度初め、保護者様にアセスメントシートの記入をしていただき、全体でお子さんの様子を周知している。その他日々のお子さんの様子は全体で共有を行っている。	保護者様のお話から、生活場面（園や自宅など）も想定しながら計画を作成できるようにしたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	指導員とお子さんの情報共有を行いながら、職員全員で対象児童の個別支援計画に目を通し、修正、改善を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	モニタリング会議を経て作成された個別支援計画は、職員に周知している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	NCプログラムを活用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個別支援計画に内容が記載されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員同士で支援の内容を共有し相談しながら組み立てを行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	お子さんの成長や保護者様のニーズ、園や自宅での様子を聞きながらその時に必要な力を伸ばすことができるようにしている。	季節や長期休みに合わせて支援の内容を変更している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	年長時のグループ支援など要望があれば行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	来所予定のお子さんを確認し、療育室、使用する机やイスのセッティング、駐車場の有無など毎日確認し、スムーズにかつ安全に受け入れができるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終業後に難しい場合もあるため、翌日のミーティング時に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	実施できている。 記録を記入しながら支援内容を自信で振り返り、次回の支援につなげている。	記録が3日以内に記入されていない場合は、管理者から声をかけている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	期間内にモニタリング、個別支援計画の作成を滞りなく行うことができている。	
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	管理者と主な担当指導員が出席できるようにしている
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	4	協力医には半年に1回ほど挨拶に行かせていただき、事業所の状況をお伝えしている。	
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	5	保護者様と共有し連携を取ることができている。	
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保護者様と共有し連携を取ることができている。	
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5	検討していきたい。	
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	ご希望があった際は、園や学校との出向き情報共有をすることが可能。	
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	支援終了後に保護者様と話す時間を設け、情報共有を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		他校舎のあいあいペアレントプログラムを実施できる職員が在籍している。開催する際は静岡市内のあいあい呼びかけを行っている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	お子様の自宅や園での様子をうかがったうえで、計画の立案を行っている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	同意を得たうえで支援を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	毎回の支援終了後に保護者様と話をする時間を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談があった場合には管理者もしくは担当の指導員と対応を行っている。お子様や保護者様の相談内容は職員全体で共有し意見が偏らないようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	LINE、ブログ、インスタグラムなどSNSを通じて発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報はカギのかかる書庫に入れている。職員室がオープンスペースの為、個人情報の取り扱いには、職員同士声を掛け合い十分気を付けている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	保護者に合わせて連絡手段を変えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	1	4	地域の防災訓練などの参加に検討している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各マニュアルを用意し、周知ししている。毎月テーマを決めて防災訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	毎月テーマを決めて防災訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	アセスメントシートにて服薬やてんかん発作等のこどもの状況を確認し、予防接種に関しては保護者から聞き取りを行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	5	アセスメントシートにアレルギーを記入していただき、職員は把握している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	実施できている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	安全計画は手に取れる場所に掲示している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットがあった際は、記録として残している。指導員同士で同じことが起こらないように話して環境整備を行っている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待・身体拘束防止委員会を中心に行っている。研修内容は校舎内で周知されている。	チェックリストを2か月に1回校舎内で行い委員会と共有している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	すべての個別支援計画に“安全のためやむを得ず身体拘束する可能性があること”を明記し保護者様に説明同意を得ている。		